

1 階高次微分方程式 $f(x, y, y') = 0 \iff$ 微分してみる

例 25 微分方程式 $y^2y'^2 + 3xy' - y = 0$ の一般解と特異解を求めよ。

(解)

考え方

微分をすることにより解を見出す。
1 階微分方程式の任意定数は 1 つである。

$$y^2y'^2 + 3xy' - y = 0$$

$y = p$ とおくと

$$y^2p^2 + 3xp - y = 0 \dots \textcircled{1}$$

x で解くと

$$x = \frac{y}{3p} - \frac{y^2p}{3}$$

y で微分すると

$$\frac{dx}{dy} = \frac{1}{3} \left(\frac{1 \cdot p - y \cdot \frac{dp}{dy}}{p^2} \right) - \frac{2y \cdot p + y^2 \frac{dp}{dy}}{3}$$

$$\frac{1}{p} = \frac{1}{3p} - \frac{y}{3p^2} \frac{dp}{dy} - \frac{2yp}{3} - \frac{y^2}{3} \frac{dp}{dy}$$

$$3p = p - y \frac{dp}{dy} - 2yp^3 - y^2p^2 \frac{dp}{dy}$$

$$2p(1 + yp^2) + y(1 + yp^2) \frac{dp}{dy} = 0$$

$$(1 + yp^2) \left(2p + y \frac{dp}{dy} \right) = 0 \dots \textcircled{2}$$

i) $2p + y \frac{dp}{dy} = 0$ のとき

$$\int \frac{1}{p} dp = -2 \int \frac{1}{y} dy$$

$$\log |p| = -2 \log |y| + c$$

$$\log |y^2p| = c, \quad y^2p = \pm e^c$$

$\pm e^c = C$ とおくと

$$y^2p = C \quad p = \frac{C}{y^2}$$

これを①代入して p を消去する。

$$y^2 \cdot \frac{C^2}{y^4} + 3x \cdot \frac{C}{y^2} - y = 0$$

$$\frac{C^2}{y^2} + \frac{3Cx}{y^2} - y = 0$$

$$C^2 + 3Cx - y^3 = 0 \quad (C \text{ は任意定数}) \dots \textcircled{3}$$

これが求める一般解である。

考え方

②で、一般解を求めた条件からはずれた条件より特異解が求められる場合がある。

ii) $1 + yp^2 = 0$ のとき

$$p^2 = -\frac{1}{y} \quad p = \pm \sqrt{-\frac{1}{y}}$$

これを①に代入して

$$-y + 3x \left(\pm \sqrt{-\frac{1}{y}} \right) - y = 0$$

$$\pm 3x \sqrt{-\frac{1}{y}} = 2y \quad 9x^2 \left(-\frac{1}{y} \right) = 4y^2$$

$$9x^2 + 4y^3 = 0 \dots$$

これは与式を満たすから、求める特異解である。

一般解から特異解を求める方法

③を C で偏微分すると

$$2C + 3x = 0 \quad c = -\frac{3}{2}x$$

これを③に代入すると

$$\frac{9}{4}x^2 - \frac{9}{2}x^2 - y^3 = 0$$

$$9x^2 + 4y^3 = 0 \dots$$

これは求める特異解である。

y の 2 次方程式の重解条件を用いる方法

①をの 2 次方程式と考え、重解条件より

$$D = (3x)^2 - 4 \cdot y^2 \cdot (-y) = 0$$

$$9x^2 + 4y^3 = 0 \dots$$

これが求める特異解である。